

名古屋環状2号線西南部・南部区間の 整備促進に関する要望



平成29年11月

愛 知 県
名 古 屋 市
飛 島 村
名 古 屋 港 管 理 組 合
名 古 屋 商 工 会 議 所
一 般 社 団 法 人 中 部 経 済 連 合 会

名古屋環状2号線西南部・南部区間の整備促進に関する要望

平素より名古屋環状2号線西南部・南部区間の整備促進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

名古屋環状2号線は、三大都市圏環状道路の一つとして、名古屋市周辺の10km圏内に位置し、名古屋市を中心に放射状に伸びる幹線道路や名古屋高速道路とを連結する極めて重要な道路であります。

専用部の全体延長約66kmのうち約54kmが開通し、未開通は、名古屋西JCTから飛島JCT（仮）までの西南部・南部区間約12kmのみとなっております。

名古屋環状2号線の一部区間が開通してから28年間で約3兆8千億円（経済成長率0.49%）の経済効果をもたらしたとされており、この地域の発展に大きく貢献しています。

名古屋西南部地域は、日本一の輸出額を誇り、本県のみならず中京大都市圏にとっても最も重要な物流拠点の一つである名古屋港を擁していますが、名古屋港と内陸地域に広く立地した日本有数の産業集積地をつなぐ南北方向の高速道路ネットワークは不十分であるため、物流の大きなネックとなっており、本地域が有する高いポテンシャルが十分に活かされていません。

名古屋環状2号線西南部・南部区間の開通による名古屋港と産業集積地との連携強化は、**移動時間の短縮や定時性の向上による物流の効率化・高度化を実現し、経済活動の生産性革命をもたらします**。卓越した産業集積で日本を牽引する本地域が、さらなる発展を実現し、経済をリードしていくためには**名古屋環状2号線を早期に整備し、一日も早くストック効果の発揮を図ることが不可欠**です。

一方で、当地域は、広大な海拔ゼロメートル地帯を有するという大きな課題を抱えています。南海トラフ巨大地震など大規模災害から国民の生命・財産をまもり、国民の生活及び経済に及ぼす影響を最小化するためにも、高架構造の緊急輸送道路となる名古屋環状2号線全線を完成させることが大変重要です。

こうした中、名古屋環状2号線西南部・南部区間について平成32年度の開通見通しが明らかとなり、開通を見据えた企業による投資の促進など、開通効果が最大限に発揮されると考えます。

名古屋環状2号線の完成は地元の悲願であり、我が国の国際競争力の強化、経済活性化を図るためにも、名古屋環状2号線西南部・南部区間について、次の項目を地元の総意として強く要望いたしますので、特別のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 1 我が国の国際競争力の強化や経済活性化を図るため、三大都市圏環状道路である、名古屋環状2号線西南部・南部区間について、平成32年度の開通に向け整備を加速し、一日も早い開通を図ること。
- 2 一般部について、暫定2車線区間の4車線化を図ること。
- 3 真に必要となる道路整備について所要額を確保すること。

平成29年11月22日

愛 知 県 知 事
名 古 屋 市 長
飛 島 村 長
名古屋港管理組合管理者名古屋市長
名古屋商工会議所会頭
一般社団法人中部経済連合会会長

大 村 秀 章
河 村 たかし
久 野 時 男
河 村 たかし
山 本 亜 土
豊 田 鐵 郎

名古屋環状2号線西南部・南部区間位置図

